

URL [https:// kenren.miyagi.coop/](https://kenren.miyagi.coop/)

県連速報

- 発信元
宮城県生活協同組合連合会
- 責任者 石川 宣子
- TEL 022-276-5162
- FAX 022-276-5160
- 2024.11.07
第703号
(2024年度:11号)

●11月6日(水)、家庭用エネルギー学習会 「電気代の値上げが止まらない?! ～料金のしくみを知ろう～」を開催しました。



講師の河野康子さん

電気料金は、4月からの託送料金・容量拠出金による値上げ、5月からの再生可能エネルギー発電促進賦課金による値上げ、さらに実施されてきた政府による補助が10月使用分で終了するため12月請求分から値上がりします。東北地区は、新電力への参入が少ないため、小売電気事業者を切り替える、いわゆるスイッチングが進んでいません。本年は、3年に一度のエネルギー基本計画の見直し、NDC(パリ協定に基づいて各国が行う温室効果ガスの排出削減目標等の作成・通報・維持)の議論の開始、「電力システム改革」として行われた電力自由化の検証、電力ガス取引監視等委員会に関するフォローアップなど、消費者にとっては重要な検討が目白押しとなっています。

そうした中、エネルギー需給や電力システムの変化などに対する理解や電気料金のしくみなどについて確認する学習会を、11月6日(水)フォレスト仙台2階第1会議室をメイン会場に会場とオンライン配信で行いました。会場33人、オンライン8人の計41人の参加がありました。

はじめに、野崎和夫専務理事が主催者挨拶を行い、続いて、「電気代の値上げが止まらない?!～料金のしくみを知ろう～」と題し、認定NPO法人消費者スマイル基金理事長の河野康子さんを講師に学習会を行いました。

電力の小売り全面自由化後の電気料金のしくみや電気料金に含まれる費用の内訳を話された後、ロシアのウクライナ侵攻に伴う燃料価格高騰などを背景とした電気料金の値上げの要因について説明されました。「くらしや社会はエネルギーの消費によって成り立っているが、日本のエネルギー自給率は約13%で、安定供給確保は最重要課題である。地球の環境保全を考えると化石燃料によって得られるエネルギーにばかり頼ってはられない。CO₂を排出しないことだけで原発依存は問題ではないか」とお話しされました。

参加者からは、「電気料金のしくみは複雑で分かりにくかったが、詳しく知ることができた」「原発事故による廃炉費用も負担しているのかと驚いた」「原発で電気代は安くならないことが良く分かった」「CO₂を出さないためにも、節電・省エネが大切だと改めて思った。」などの感想が寄せられました。

消費者がどのように電気と付き合うかを考えるきっかけとなる学習会となりました。



主催者挨拶をする野崎専務理事